

平成28年9月定例会一般質問（芥川貴久爾）

1 国民健康保険について

（1）世帯主が後期高齢者医療制度に加入した場合における被扶養者の国民健康保険への加入手続

（2）市民への周知

（質問要旨）

世帯主が75歳に到達し、後期高齢者医療制度に移行する場合、それまで世帯主の社会保険の扶養となっていた家族については、国民健康保険に加入する必要があります。

この場合、家族については、世帯主が後期高齢者医療に移行する75歳の誕生日以降に国民健康保険への加入手続を行うこととなりますが、仮に世帯主の誕生日が休日等の場合、国民健康保険への加入手続は休日明けとなり、その間、家族は無保険の状態になるのではないかと考える方は多いと思います。

たとえ数日でも無保険の状態が発生することは、市民にとって不安な日々を送ることになり、市民サービスの観点から、好ましくないのではと考えるものです。宇部市ではこの場合、どのように対応されているかお伺いいたします。

また、こうした手続について、市民に対し、どのように周知されているか併せてお伺いします。

市長答弁

（回答要旨）

これらは、関連がありますので、一括して答弁をさせていただきます。

社会保険に加入している世帯主が75歳を迎えると、社会保険は離脱となり、誕生日からは、後期高齢者医療制度に移行します。

また、世帯主の扶養となっていた家族についても、世帯主の誕生日で社会保険の離脱となり、国民健康保険に移行することとなりますが、この場合、世帯主の誕生日から14日以内に、加入手続きをしていただく必要があります、保険証は、手続き完了後に交付しています。

仮に、休日や都合等により、すぐに手続きが出来ず、保険証が手元がない場合でも、社会保険の離脱日まで遡って、国民健康保険の資格を取得することになるため、無保険状態になることはありません。

しかしながら、保険証が手元がないことで、不安を感じる市民がおられることから、今後は、社会保険の離脱前でも加入手続きができるよう検討します。

なお、国民健康保険制度や各種手続き等について、わかりやすく伝えられるよう窓口やホームページ等、あらゆる機会を活用して市民に周知をしていきます。

2 子どもプラザについて

(質問要旨)

現在、議会においては、宇部市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に関し、市議会として戦略全体を見据えた大局的見地から調査するとともに、必要に応じ助言等を行うことにより、本市の地方創生の推進に資するものとするという任務をもって、宇部市創生総合戦略特別委員会が設置されています。

7月13日に開催された委員会において、中心市街地再生に向けたパイロット事業の方針(案)が示されましたが、今までの経緯と今後の進め方をどうするのかお伺いします。

市長答弁

(回答要旨)

宇部市子育て支援施設(仮称)子どもプラザは、天候に関係なく、いつでも親子で遊べる場であり、子育て支援活動の活性化を図る機能や子育て支援に関する情報を集約、また、一元化して発信する機能を有する、本市の子育て支援の拠点となる施設として整備するものです。

その必要性は、これまでも議論されてきており、子育て支援施設としての児童館の整備について、議会でも度々取り上げられ、大型の児童館の整備について検討した経緯がありますが、実現には至っていません。

そのため、各地域における学童保育施設の充実やサテライト型の子育てサークル、つどいの広場などの事業に取り組んできました。

しかしながら、これらの事業は個々に実施され、相互の繋がりが無いため、ネットワークを構築し、情報を集約・一元化することで、効率的かつ効果的な事業展開が可能となります。

また、平成25年度に実施した、「子育て支援に関するアンケート調査」においても、経済的支援の要望に次いで、子ども連れでも安心して楽しめる場所やイベントのニーズが多いという結果でした。

そこで、子育て支援の核となる拠点施設を設置し、未来の宇部を担う子どもの健やかな育成、市全体の子育て力の向上、子どもを中心とした活気のあるまちづくりに繋がります。

そのため、(仮称)子どもプラザの基本構想(案)を作成し、平成27年12月議会の文教民生委員会において経過報告とその内容を説明し、ご意見をいただきながら、平成28年1月に子育て支援施設基本構想を定め、(仮称)子どもプラザの方向性を打ち出したところです。

一方、平成27年6月に「宇部市まちなか活力再生計画」が地域再生計画として、内閣府の認定を受けたことから、平成27年7月の市議会「宇部市まち・

ひと・しごと創生総合戦略調査特別委員会」での説明を経て、まちなかの再生を目的として（仮称）子どもプラザの施設整備など、中央町地区を中心に、様々な事業に取り組むことにしています。

その取り組みの一環として、まちづくりの専門的な見地から検討する目的で平成27年12月から「中央町まちづくりコーディネート業務」により候補地の選定や事業手法などの検討を行っています。

この業務では、「中心市街地再生に向けたパイロット事業の方針（案）」として、中心市街地を活性化させるためには、「市役所周辺地区」「中央町三丁目地区」「宇部新川駅周辺地区」の3地区を整備するとともに、それぞれを繋ぐ役目を担う中央町地区でのパイロット事業が欠かせないという見解が示されました。

それを基に、子育て支援、若者の活動や交流、起業・創業支援、民間集客施設など複数の機能の相乗効果によって周辺への波及効果をもたらす事業として、河長跡地周辺での「集積型パイロット事業」と、中央町三丁目第二地区内の空き地や空き物件などを活用した「分散型パイロット事業」をまとめたところで

す。

この事業方針（案）は、平成28年7月に市議会 宇部市創生総合戦略特別委員会で、平成28年8月には市議会 産業建設委員会でも説明を行ったところ

です。

今後は、事業の進捗に合わせて、市議会や市民への積極的な情報発信を図り、御理解を得ながら、平成28年度の事業着手を目指します。

（再質問要旨）

二つの案をまとめられたということですが、その後の経緯について説明ください。

（回答要旨）

「集積型パイロット事業」については、一部の地権者の意向により成立に至っておらず、事業候補地の再検討を行っているところである。

（再質問要旨）

（仮称）子どもプラザは本市の子育て支援の拠点となる施設として整備するとありますが、現在の子育て支援の拠点はどこにありますか。

（回答要旨）

子育て支援の拠点というものはないが、妊婦期から子育て期の相談業務の拠点は、保健センターの子育て世代包括支援センターにあるが、（仮称）子どもプラザができるとその機能は引き継ぐことになる。

（再質問要旨）

「子育て支援施設基本構想」は未就学児からの子育て支援の拠点と聞いてお

り、委員会でもその説明は聞いていない。今後、委員会でも協議したい。

宇部市創生総合戦略特別委員会の前身である宇部市まち・ひと・しごと創生総合戦略特別委員会において、この子どもプラザについては、多くの議論がありました。昨年9月にはこの特別委員会の報告がなされました。その中では、「子育て支援施設としての（仮称）子どもプラザの設置についても、子育て環境として適切な場所か、また、市外からの利用者が見込まれるのかなども十分検証する必要があります。将来人口の激減が予想される中、人口減少を食いとめる施策実行する上で、国の補助制度を利用したさまざまな事業が予定されていますが、事業効果の事前検証をしっかりと行うべきです。まちづくりに当たっては、計画ありきではなく、市民の意見を幅広く聴取し、十分検証した上で、責任ある施策を展開することが極めて重要です。」と指摘をされています。

子育て環境として適切な場所か、市外からの利用者が見込まれるか、事業効果の事前検証など、どのように認識され検証されてきましたか。

（回答要旨）

構想として方針を決めただけで、具体的にはこれから算定していく。

（再質問要旨）

本年1月子育て支援施設基本構想を策定しておられます。この概要、例えば施設の大きさ、建設費、年間の維持管理費など考えておられれば説明してください。

（回答要旨）延べ床面積は1950㎡ですが、建設費や維持管理料は新設か既存施設かわからないので現段階では試算ができない。

（再質問要旨）

今年3月に策定された宇部市公共施設等総合管理計画において、今後30年間の施設更新費の不足見込額に対応するため、施設総量の縮減、施設の長寿命化、施設の有効活用、将来に備えた施設整備財源の確保、以上の4つのマネジメント原則を設定するとともに、建物については、新規整備の抑制や複合化、統廃合、更新時の減築により、総面積を12.6%削減する目標を設定しておられます。（仮称）子どもプラザについてこの計画との整合性についてお聞きします。

（回答要旨）

新設の場合、必要性を精査し、フルコストの縮減も必要である。トータルでの見直しが必要である。

（要望）

宇部市公共施設等総合管理計画でも「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「にぎわいエコまち計画」との相互連携を図っていくとしており、新規で建てようとするとならば、昔の建物は12.6%以上削らないと今からやっつけな

いので、既存の施設で考えていただきたい。また、平成25年10月に行われたアンケート調査では、経済的支援の要望に次いで、子ども連れでも安心して楽しめる場所やイベントニーズが多いという結果を紹介されたが、親子が安心して集まれる身近な場やイベントの機会が欲しいという「身近な場」という結果になっており、地域で育てることが重要であると思う。

今まで思いつく論点だけを少し議論してきましたが、宇部市総合戦略特別委員会もありますので、今後十分議論を尽くしていただくようお願いしすべての質問を終わります。